

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	6102	(H.24)No.	6102
-----------	------	-----------	------

事務事業名		教育振興一般経費(教育総務室)			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
教育委員会事務局		教育総務室		今井寛	63-7849
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度～平成	年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	1	生きる力をはぐむ教育の充実
	施策	1	学校教育
	小施策	2	義務教育
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分		事業コード	462508
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	教育費	教育振興費	
項	教育総務費	(小事業名)	
目	教育振興費	教育振興一般経費	

3. 事務事業の概要

事業概要	
学校教育にかかる配置臨時職員の賃金、社会保険料及び旅費	
対象者 自立支援員、学習サポーター、臨時栄養士(小中学校に配置) 教育研究所嘱託員、教育専門相談員(教育研究所に配置) 不登校自立支援補助員(適応指導教室に配置) 学校図書館充実支援員(教育委員会事務局に配置)	

めざす効果(事業目的)
学校教育の円滑な推進や教育研究所、適応指導教室の相談機能などを整備することにより、児童生徒の教育環境の充実を図る。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)		平成24年度 (計画・作成時予算額)		現在の実施手法(複数選択可)			
	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]		市が直接実施 業務委託(全部・一部)により実施 指定管理 補助金・交付金 その他()			
主な事業の実績・計画	自立支援員27名 学習サポーター26名 教育研究所嘱託員1名 教育専門相談員1名 不登校自立支援補助員1名 臨時栄養士1名 学校図書館充実支援員1名 他		自立支援員32名 介助員1名 学習サポーター27名 教育研究所嘱託員1名 教育専門相談員1名 教育専門指導員1名 不登校自立支援補助員1名 臨時栄養士1名 他		平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)	
	自立支援員32名 介助員1名 学習サポーター27名 教育研究所嘱託員1名 教育専門相談員1名 教育専門指導員1名 不登校自立支援補助員1名 臨時栄養士1名 他		自立支援員32名 介助員1名 学習サポーター27名 教育研究所嘱託員1名 教育専門相談員1名 教育専門指導員1名 不登校自立支援補助員1名 臨時栄養士1名 他		自立支援員32名 介助員1名 学習サポーター27名 教育研究所嘱託員1名 教育専門相談員1名 教育専門指導員1名 不登校自立支援補助員1名 臨時栄養士1名 他	自立支援員32名 介助員1名 学習サポーター27名 教育研究所嘱託員1名 教育専門相談員1名 教育専門指導員1名 不登校自立支援補助員1名 臨時栄養士1名 他	自立支援員32名 介助員1名 学習サポーター27名 教育研究所嘱託員1名 教育専門相談員1名 教育専門指導員1名 不登校自立支援補助員1名 臨時栄養士1名 他	
直接事業費	65,396千円		82,529千円		82,529千円	82,529千円	82,529千円	
財源内訳 (千円)	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他()							
一般財源	(0)	65,396	82,529	82,529	82,529	82,529	82,529	
人工数	職員	0.20人		0.20人	0.20人	0.20人	0.20人	
臨時職員等								
概算人件費	(0千円)	1,460千円	1,460千円	1,460千円	1,460千円	1,460千円	1,460千円	
+ 総事業費	(0千円)	66,856千円	83,989千円	83,989千円	83,989千円	83,989千円	83,989千円	

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	雇用している臨時職員の人数	-	-	-	-	-
	実績		52	47	52	58	
成果指標	目標	小・中学校の教育環境に満足している市民の割合	-	-	-	-	62.0
	実績		59.2	57.5	59.6	60.6	
	目標						
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
特別な支援が必要な児童生徒について、自立支援員を配置するなど、児童生徒の教育環境整備のための取組を進めました。また、教育研究所、適応指導教室に相談員等を配置し、保護者や教職員からの教育相談に対応するなど、様々な教育支援を行いました。	「名張市子ども教育ビジョン」や(仮称)名張市総合教育センター構想にかかる提言などに基づき、引き続き必要な業務推進体制を整備します。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
学校教育にかかる相談が多様化し、特別な支援を必要とする児童生徒の人数も増加するなど、教育課題を的確に捉え、様々なニーズに迅速に応えるための取組を進める必要があります。	・教育相談、特別支援教育の充実 ・少人数教育の推進

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	平成25年度に開設予定の(仮称)名張市総合教育センターにおいて、教育相談業務等を一元化することにより、より効果的な相談・支援体制を構築します。
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ある	国津地区、つつしが丘地区、青蓮寺・百合が丘地区教育ボランティア、校外学習への協力などの学校教育への支援について、計画に位置づけがあります。
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映済み	地域、ボランティアや各種団体の方々と保護者、学校が連携して、互いに役割を担いながら、子どもたちのより良い教育環境づくりを推進することとしています。
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	研修会等を通じ、職員の指導力の向上を図ります。

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む) 継続(事務改善)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項